

令和4年度学内版GP 公募要領

1. 目的

学内の教育の質の向上につながる教育取組の中から、特に優れた取組を支援する。ただし、研究助成を目的とはしない。

2. 募集するプログラム

学位授与の方針（DP）の達成に重要な寄与をする授業における取組であり、次のいずれかに該当する教育実践であること

- A 1年生対象の必修もしくは選択必修授業で組織的な学習支援を組み込んだ取組
- B 2年生以上対象の必修もしくは選択必修授業で質を伴う授業外学習時間をデザインした取組

※原則として、学部や学科、専攻等の単位での組織的取組を対象とする。

※研究が主となる取組は対象としない。

※なお、Aに該当するプログラムは、以下の理由を踏まえ、ヒアリング審査実施要領1（1）の配点を3倍とする。

学生の学力の多様化がこれからも進んでいくことが見込まれ、『2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）』（平成30年11月26日中央教育審議会）、『教学マネジメント指針』（令和2年1月22日中央教育審議会大学分科会）においても、組織的・戦略的な学生の多様化への対応が求められている。DPを達成するには（＝出口管理のためには）、初年次の必修科目での成果の底上げと保証が欠かせない。2年生以上の授業への対応に比べ、初年次生を対象とする取組には教育的な労力と学内の資源の利活用が求められる。信州大学として、初年次生を対象とする本質的な取組を支援し、組織的な文化を構築していくために、このような配点とする。

※本企画は、内部質保証を実現するための一手段として、「DPの達成」にかかわる重要な授業を対象とするため、選択科目および全学横断特別教育プログラム、教職教育課程などについては、対象外とする。

※「組織的な学習支援」の内容については、別紙をスタンダードとし、プログラムの開始時までにある程度準備を進めておくこと。

3. 申請書作成に当たっての注意事項

- (1) 様式「令和4年度学内版GP申請書」により作成すること。
- (2) 「取組内容」欄、「取組の概略図」欄にある解説（赤字・青字）については、記入の際は削除すること。
- (3) 申請書は、内容・概略図を含めて全体を4ページ以内（厳守）で作成すること。
- (4) 申請書は日本語もしくは英語で書くこと。

4. 採択件数

6件程度

5. 申請書の提出期限及び提出先

提出期限…令和4年1月24日（月） ※厳守

提出先…学務部学務課教務グループ 学内版GP担当

提出方法…電子メールにて (campus-eie@shinshu-u.ac.jp) に提出すること。

※メールの件名は、「【学内版GP】○○学部（※取組部局名）」とすること。

※申請書のファイル名は「【○○学部（※取組部局名）】取組申請者名」とすること。

※応募前に、申請内容・申請書類に対しての高等教育研究センター専任教員からのコンサルテーションを受け付ける。希望する場合は、上記メールアドレスまで連絡すること。なお、コンサルテーションを受けたかどうかは審査において一切影響しない。

6. 選定方法

申請のあった取組について書類選考を行い（応募件数により、書類選考は実施しない場合もある）、書類選考を通過した取組を対象としてヒアリング審査（詳細は別紙ヒアリング審査実施要領参照）を行った上で、選考会議により選定する。なお、書類選考結果並びにヒアリング審査実施については、取組責任者宛に通知する。

7. 評価員

学長、理事（教務担当）、副学長（教育企画・戦略担当）、並びに各学部及び全学教育機構から選出された者2名ずつの計21名とその他、高等教育研究センター長が推薦する者若干名。

（各学部及び全学教育機構から選出される者のうち1名は、可能な限り部局のFD責任者の方。）

なお、応募者が評価者になることは不可。

8. 選定結果の通知

取組部局長及び取組責任者宛に通知する。

9. 問い合わせ先

学務部学務課教務グループ 学内版 GP 担当

内線電話：811-7165 / メールアドレス：campus-eie@shinshu-u.ac.jp

10. その他

- (1) 採択された取組が複数年度にわたる場合であっても単年度予算の配分となるため、その取組の継続を希望する場合は、各部局の事業計画への組み入れを検討すること。
- (2) 1人の教員が複数の取組の責任者となることは不可。（取組担当者として複数の取組に参加することは可）
- (3) 公募の案内は高等教育研究センターのウェブサイト（<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/rche/>）にも掲載する。
- (4) 採択された取組には、1件につき500,000円を上限とした予算措置を行う。ただし状況によっては傾斜配分を行う場合もある。（参考：令和3年度配分額：200,000～500,000円）
※配分された予算は年度内に使い切ること。
※学内版GPの予算は現段階では未確定のため、実際の配分額は未定。
- (5) 採択結果は高等教育研究センターのウェブサイトにて公表する。なお、応募者に対しては、審査終了後に評価点をフィードバックする。
- (6) 採択された取組には、計画終了時（令和4年度末）に報告書の提出を求める。報告書は高等教育研究センターのウェブサイトにて公表する。報告書には、科目GPAと授業アンケートの数値等を分析することにより、その取組の「受講生の主体的学修を促す教育実践」としての、また「受講生の達成感（＝自己効力感等）を上げる教育実践」としての教育成果を記載することとする。
- (7) 採択された取組の担当者には、FD等の機会において、取組についての発表を求める場合がある。また、高等教育研究センターのニューズレター（季刊）への寄稿を依頼する場合がある。なお、採択された取組については、その年度の部局事業計画のヒアリングで話題になることが予想される。
- (8) 令和3年度のヒアリング審査の様子（抜粋）を収録した映像について、eALPS教職員用サイト「令和3年度オンラインFD」のコース内で公開しているため参考とすること。

《参考：採択までの流れ》

